



# 東吾妻町

# 議会だより

第 13 号

平成21年5月1日

発行：東吾妻町議会



まちの風景「大運寺の桜」

## 3 月 定 例 会

平成21年度一般会計予算を可決 ..... 2 P

介護保険料が改定 ..... 6 P

「町の雇用対策は」など4議員が一般質問 ..... 10 P

# 予算86億円でスタート

平成21年第1回定例会は、3月9日から19日まで11日の日程で開催されました。

町長より平成21年度の各当初予算をはじめ、条例の制定・改正や人事案、専決処分の承認、陳情、20年度補正予算など41件の案件が提出され、38件を原案どおり可決しました。

一般質問では4人が登壇し、町政をただしました。

## 歳入

町税は、十九億八、五四一万円ですが、そのうち業績の悪化による法人町民税の減少で前年比2・29%（四、六六二万円）の減額となりました。

地方交付税は、二五億八、七一七万円を見込み、前年比〇・65%（一、六六三万円）増額となりました。

国庫支出金は、特に原町小学校新築事業が終了した為、前年比27・7%（一億一、八〇九万円）減額となりました。

県支出金は、松谷・三島土地改良事業に伴う補助金や、緊急雇用創出事業補助金により、前年比21・73%（一億三、〇二三万円）増額です。

## 歳出

原町小学校建設、まちづくり交付金事業などが終了したことにより、総額では減額となりました。

今年度原町小学校プール新築事業で一億二百万円を計上しています。

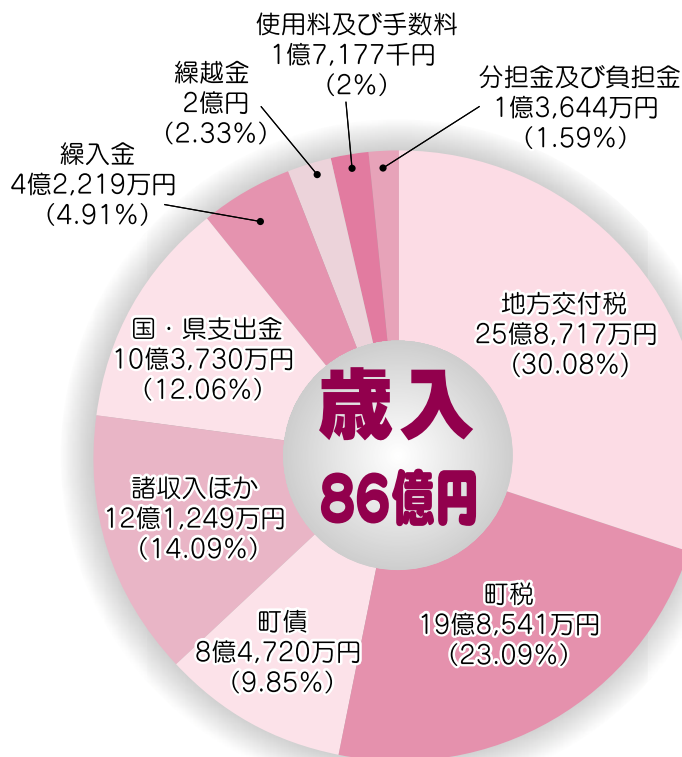
総務費は、前年比で34・41%増の二億八、二八〇万円となりました。主な要因は八ツ場ダム関連事業で四億七、八七八万円増額となったことなどです。

町の返済金は昨年より6・45%減り、十一億六、四四六万円です。

人件費や返済金など義務的経費の全体に占める割合は40・1%で三四億五、二二四万円です。



原町小学校プールの工事がはじまりました



# 平成21年度一般会計当初



茂木伸一町長

## 予算編成について

※町長は、平成21年度の基本的な考え方を次のように述べました。

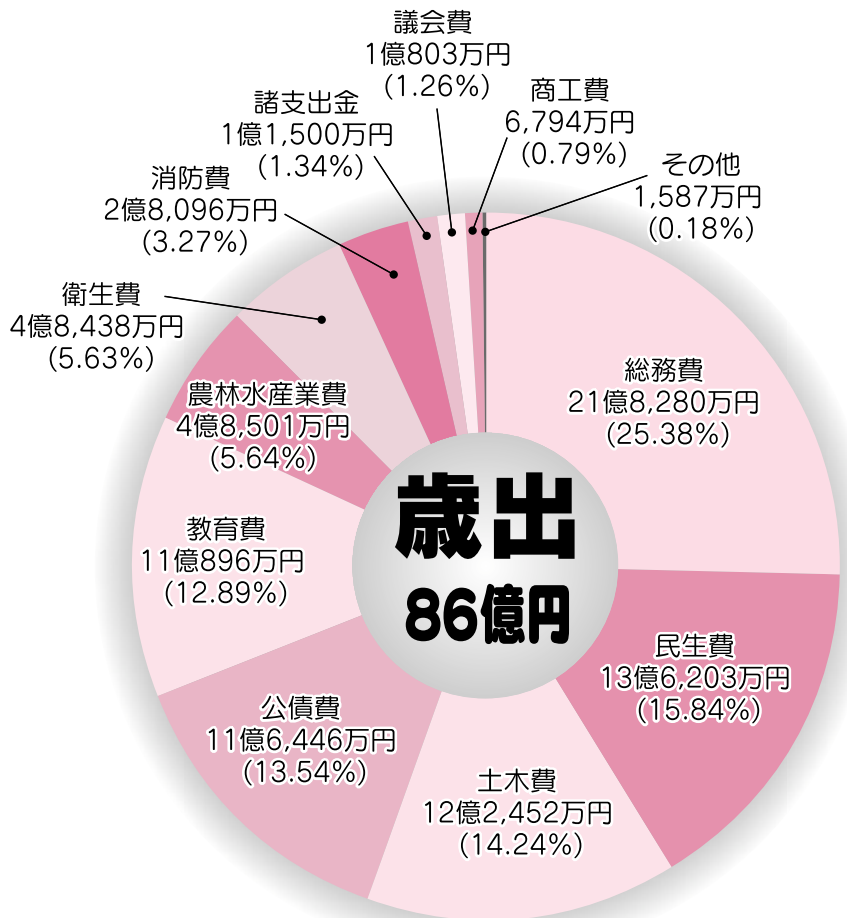
平成20年度において、合併後10年を見据えた第一次総合計画が策定されています。21年度予算編成では第一次総合計画の内容を踏まえ、合併効果が最大限に発揮できるよう腐心してきました。本年度は、不況に対応するため国・県との施策を共有し、柔軟な財産運営に努めていきたいと考えています。

歳入においては、経済不況を背景に法人町民税を前年度比24.7%の大幅減を見込んでいます。

生活関連事業として、教育施設、保育園の芝生化事業を手がけて緑あふれる校庭を目指します。

元気の出る町づくりのために、地域活性化事業運営費補助金制度を創設しました。アイデアを出し合って町づくりの一助に活用してください。今後、更に充実していきたいと考えています。

経済対策として、商工業経営振興資金利子補給を24%から50%への引き上げ・緊急雇用創出事業等、不況対策にも力をいれていきます。



## 町債残高一覧表

区分	21年度末見込額
一般会計	105億7,070万円
国保(施設勘定)特別会計	2,988万円
いわびつ荘特別会計	3,931万円
地域開発特別会計	4億3,677万円
下水道事業特別会計	35億4,682万円
簡易水道特別会計	2億1,427万円
水道事業会計	12億4,206万円
国民宿舎事業会計	4億7,305万円
合計	165億5,290万円

**町債**  
原町小学校新築事業及び、まちづくり交付金事業が終了したことにより、前年度比32・56%(四億九〇〇万円)減額です。  
21年度末の町債残高は表のとおりで、合計を町民1人あたりに換算すると約九七万円です。





## 可否同数で議長 裁決により可決

### 予算の重点は

議員 重点施策はどのよう  
な捉え方で、この予算  
を作ったのか。

町長 認定農業者の補助  
制度を町単独で手厚くす  
るなど、地域の活性化と  
いうことに重点をおいた。

教育施設等、校庭の芝  
生化整備費用などを緊急  
雇用対策という形で計上  
した。

### 国有資産等市町村 交付金について

議員 杉並・板橋両区か  
ら、国有資産等市町村交  
付金を徴収していない理  
由は。

副町長 杉並区から固定  
資産の報告などの一連の  
手続きがあれば、当然請  
求する対象である。しか  
し、過去に台帳の通知が

なかったもので、現在協議  
をしている最中である。

板橋区については、こ  
の通知が町に対して行わ  
れており、協議の上手続  
きに従い請求していく。

### 債務負担行為

議員 債務負担行為が3  
件あるが、特に駅北関係  
の事業について現在どの  
ようになっているか。

総務課長 平成22年まで  
にこの事業を完了するこ  
うの中で、ほとんどの部  
分について、現在完了し  
ている。残りの部分につ

いては、なかなか地権者  
の理解がいただけないと  
いう中で、最終的な工事  
を調整しているところ。

議員 これは連帯保証に  
なるのか。また、駅北組  
合員の責任はどこまでな  
のか。

総務課長 理事に第一責  
任があり、次に町が責任  
をとということになると思  
う。

### 職員給与の 適正化について

議員 町長は、ラスパイ  
レス指数を95とする方針  
を出している中で、任期  
中に段階的に引き下げる  
と言ったと思う。だが、  
予算には削減案が入って  
いない。その理由を聞き  
たい。

町長 今でも目標は変え  
ていないが、職員組合と  
の交渉が必要であり今し  
ばらく時間がかかる。

### 都市計画税の 課税は

議員 自主財源確保とい  
う観点から、21年度予算  
にも組み込まれていない  
理由を聞きたい。

町長 基本的な考え方が、  
最終的にまとまっていな  
い。引き続き検討する。

### 町内過疎地域への 予算配慮は

議員 町全体の一体感の  
醸成と均衡ある発展と言  
っているが、岩島・坂上  
地区予算はどう考えてい  
るか。

町長 デマンド方式（  
）を採用した公共交通の見  
直しを企画し、特に高校  
生の通学、社会人の通勤  
にも使えるような時間帯  
を考えた。

※デマンド型乗合運送（区域運行情型）  
予め決められた時刻の乗合タクシーに利用者が予約をし、自宅付  
近まで迎えに行き目的地付近まで乗合運送を行う運行形態。需要が  
あったときだけの運行で無駄が無い。

### 社会教育費

議員 昨年と比べても、  
新規事業や見直しが目に  
付かないが、どんな考え  
か。

社会教育課長 予算額は  
例年並みだが多くの人に  
参加してもらえよう、  
行事ごとに内容を工夫し  
ていきたい。

### 吾妻荘予算に ついて

議員 昨年も当初予算を  
否決されており、今回も  
漠然と一般会計から繰り  
出すよう組んであるのは、  
納得できない。20年度内  
に検討委員会を立ち上げ  
てという話をしていたが、  
どんな経緯でこういう予  
算組みになったのか。

総務課長 吾妻荘から出  
されたものを精査し編成  
している。

### 学童保育に ついて

議員 学童保育所費に三  
二一万円計上があるが、  
この予算規模からいくと  
新規開設は無いと取れる。  
過去にチラシ等で事業参  
入者の募集があったと思  
われるが、その結果はど  
うだったか。

学校教育課長 公募はし  
ていないが現在検討中で  
ある。



1月31日に開催の公民館事業「オカリナコンサート」

# 一般会計予算を問う

## 過疎計画について

議員 過疎計画が平成21年度で終了になるが、どのように思っているか。

町長 過疎債は有利な借入金だと思っている。短期の返済のため、本当に必要なものを精査した中で活用したいと考えていきたい。

## 公民館分館活動について

議員 公民館分館活動については、条例に明記されている。その中で、事業については、運営費補助金で賄うということも載っているが、予算に計上されていないのはなぜか。

町長 公民館・分館については、事業補助金としての補助を考えてもらいたい。そちらを活用していただきたい。



公民館活動の一環で花植え作業

## 中学校統合について

議員 統合問題については、前向きにとという話があったと思うが、今後どのように進めるのか伺いたい。

教育長 昨年の12月議会で、21年度早々にアンケート調査を実施し、それを踏まえて進めるとした町長回答に沿って教育委

員会でも検討している。

議員 アンケート調査は、具体的にどのようにするのか。町長は、一昨年5校を1校にと諮問すると言っていたが進んでいないので、考えを聞きたい。

町長 5校を一緒にするという形で進めている。4月の初めから企画をし、アンケート結果を踏まえ、学校統合問題審議会等を立ち上げ慎重に検討を重ねたい。

## 温泉センター食堂の運営は

議員 予算的に非常に多くなっているが、現在、民間委託で行っている桔梗館の状況を踏まえた中で、どのように考えているのか。

岩櫃ふれあいの郷施設長 予算的に一、六〇〇万くらいの赤字を見込んでいく。具体的な方向は出ていないがテナント方式等を検討している。

また、開設時からの臨時職員の問題もあり、あわせて検討していかねければならない。



岩櫃ふれあいの郷

## 反対討論

金澤 敏議員

本予算では、個々の施策や事業に関して、評価出来る点も多い。

しかし、住民の安心や健康を守る視点が、中核病院への支援のありかたなど総合的に見て、住民の不安の解消に答えていない点や、食料自給率を向上させる施策や、若い世代が定着し次の世代を産み育てる環境整備の事業でも町独自の考え方や長期展望の姿勢が見えず、全体的に住民の身近なサービスへの視点を欠いている。

さらに、厳しい財政を健全化していくとの気概が感じられない。

よって本予算には賛成出来ない。

## 賛成討論

竹淵博行議員

当町でも、歳入の落ち込みは例外ではないが、失業対策として「雇用創出事業」、中小企業支援で商工業経営振興資金利子補給の率を約25%から50%への引き上げなど、経営者にとっては有難い改正であること。

また、子供の通院医療費無料化の継続、教育環境整備充実。交通弱者といわれる方々の足を確保するため、「地域公共交通活性化・再生総合事業」の検討が始められたこと。

以上のように住民と協働し、町民福祉の向上と活力あるまちづくりが推進され、今年度予算が確実に実行されることが地域経済の一助になると確信する。

これらの内容を総合的に判断し本予算案に賛成する。

# 定例会で決まったこと

## 介護保険料

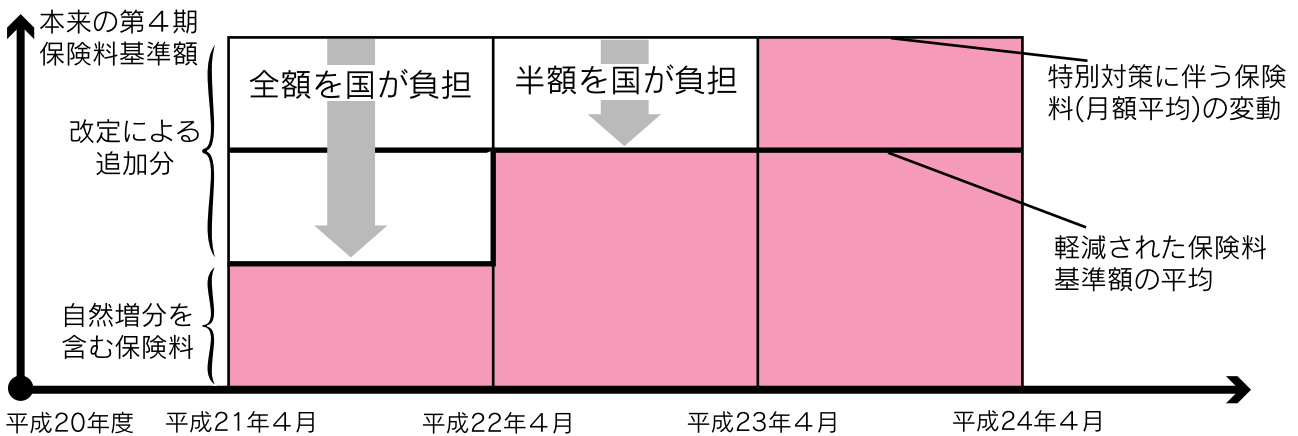
課税区分	階層	21年度 年税額	22年度 年税額	23年度 年税額
生活保護者、 町民税世帯非課税で老齢福祉年金受給者	第1段階	16,700	17,000	17,200
町民税世帯非課税 課税年金収入+合計所得金額≤80万円/年を満たす者	第2段階	16,700	17,000	17,200
町民税世帯非課税 第2段階対象者以外	第3段階	25,000	25,400	25,800
町民税世帯課税 町民税本人非課税	第4段階 <small>課税年金収入+合計所得金額≤80万円/年を満たす者</small>	27,600	28,100	28,600
町民税本人課税 合計所得金額200万円以下	第5段階	41,600	42,400	43,000
町民税本人課税 合計所得金額200万円以上	第6段階	50,000	50,900	51,600

**介護保険料が改定されます  
特交付金を活用し負担軽減**

介護保険料は平成21年度4月から新たに第4期がスタートし、それに伴い介護保険料も見直されました。みなさんへの介護サービスの供給量の変化と介護報酬がプラス3%改定されたことにより、介護保険料が変更されます。

ただし、介護報酬の改定に伴う保険料の上昇分は、急激に上昇しないよう、国の特別対策により軽減措置が実施されます。当町は今後3年間、保険料負担が段階的に上がることとなります。

## 保険料上昇を抑制します



### 指定管理者の指定

『ひがしあがつま  
地域活動支援センター』

指定管理者

社会福祉法人 オリチンの村  
理事長 大塚章一

指定期間

平成21年4月1日～  
平成24年3月31日

### 条例の制定

#### ◆ふるさと応援寄附 基金条例を制定

東吾妻町を応援する個人・法人その他団体からの寄附金を財源として寄附者の意向を反映した政策を実施することにより、ふるさとづくりを推進することを目的とします。

これにより「ふるさとづくり事業基金条例」と「地域振興基金条例」については、本条例制定により廃止となりました。(平成21年4月1日施行)

#### ◆進出事業者の 固定資産税を免除

当町に進出する事業者に対し、取得した土地・建物について固定資産税を3年の分に限り免除の特例を受けることができます。この免除した固定資産税の75%が地方交付税に算入されます。(平成21年4月1日施行)

### 人事

#### ◆人権擁護委員候補者

任期(3年)満了に伴う次期候補者に、現在1期目を務められている佐藤弘氏(五町田)を適任と認めました。



## 「定額給付金事務費など」 専決処分を不承認

町長は、一日も早く町民に配れるようにしたいという気持ちと、議会を招集する時間的余裕がないためとし、定額給付金給付に係る事務費九八五万九千円、子育て応援特別手当交付金事務費四万五千八百円を2月5日専決処分しました。本会議においてこの報告がされましたが、賛成少数で承認しないこととしました。

## 反対討論

一場 明夫議員

当然支給に関する事務費や給付金等に関する予算措置を否定するものではない。

しかし、事務費の予算措置を町が専決したことは、地方自治法第179条1項の規定を適用するのが適当とは認められない。

また、議会運営委員会で不適正な説明をした執行部の行為は許すことはできない。

よって、今回の専決を承認することは、規定に違反するとともに、議員自ら議会の議決権を放棄することにつながりかねないことから反対する。

(不承認になっても、専決処分の効力に影響はありません)

※専決処分とは・・・

議会が議決すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めたととき、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

(地方自治法第一七九条一項抜すい)

## 平成21年度 東吾妻町会計別予算額

会 計 名	歳 入 ・ 歳 出		
	今 年 度	前 年 度	対 前 年 比
一 般 会 計	86億円	87億2,800万円	98.53%
国民健康保険特別会計事業勘定	17億5,362万円	17億5,668万円	99.83%
国民健康保険特別会計施設勘定	9,021万円	8,713万円	103.54%
老人保健特別会計	201万円	2億524万円	0.98%
後期高齢者医療特別会計	1億8,542万円	1億9,839万円	93.47%
特別養護老人ホームいわびつ荘運営事業特別会計	2億3,144万円	2億3,957万円	96.61%
介護保険特別会計	11億1,982万円	11億4,770万円	97.57%
地域開発特別会計	6,372万円	4,006万円	159.06%
下水道事業特別会計	6億2,939万円	6億1,789万円	101.86%
簡易水道特別会計	5,570万円	6,090万円	91.46%
合 計	127億3,136万円	130億8,159万円	97.32%

### 公営企業会計名

会 計 名	歳 入			歳 出		
	本年度	前年度	対前年比	本年度	前年度	対前年比
水道事業会計(第3条)	2億435万円	2億538万円	99.50%	2億435万円	2億538万円	99.50%
水道事業会計(第4条)	2,810万円	4,975万円	56.47%	1億6,044万	1億5,562万	103.10%



国民宿舎事業会計予算案は、20年度中に経営改善がされず、予算も昨年同様な案では納得できない、などの理由で否決されました。

## 採択となりました

「中之条駅～大柏木間のバス終点延長」  
の陳情書 大柏木区長会長 加部佳三 ほか10名



総務常任委員会で大柏木の現場を現地調査

今定例会では、陳情2件を所管の委員会で審査しました。審査の結果が本会議で報告され、次のように決まりました。

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
センター事業団群馬事業  
所長 石田裕人

## みなさんからの 請願・陳情

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

趣旨採択と  
なりました

# 平成20年度 補正予算

会 計 名	補 正 額	予 算 額
一 般 会 計	2億1,991万円	93億1,458万円
国民健康保険 特別会計	事業勧業 1,422万円 施設勘定 202万円	17億7,181万円 8,687万円
後期高齢者医療特別会計	2,351万円	1億7,487万円
介護保険特別会計	992万円	11億7,103万円
下水道事業特別会計	△ 5,242万円	5億7,050万円

## 主な内容

- ◎定額給付金給付  
……………2億6620万円
- ◎子育て応援特別手当  
……………720万円
- ◎地域活性化生活対策事業  
……………2億8840万円
- 町道改修  
旧校舎解体 ほか



**国民宿舎事業会計補正予算は、経営実態を明確にするため一時借入をして経営をするべき。また、会計処理の方法などに問題があるなどの理由で否決されました。**



定額給付金の受付



## その他の議案

### ◆個人情報保護条例

改正統計法が、平成21年4月1日に全面施行されるための改正です。

### ◆小口資金融資促進条例

借りかえ制度を1年間期間延長するもの

### ◆浄化槽市町村整備推進事業に関する条例

浄化槽の設置工事完了検査日から1年以内に使用開始しなければならぬとする条項の追加です。  
(平成21年4月1日施行)

### ◆労働環境整備資金融資促進条例の廃止

融資利用の減少に伴い群馬県が廃止するためのものです。

### ◆農業集落排水

#### 使用料条例の改定

東地区の使用料は、4月1日現在の世帯員人数で年間の使用料を算定していましたが、年度途中

での世帯員数が変わった場合は、それに伴う使用料の増減をおこなうことになりました。  
(平成21年4月1日施行)

### ◆町道路線の廃止・認定

路線廃止 1路線  
路線認定 6路線

### ◆都市公園条例の一部改正

原町駅北1号街区から3号街区の3公園が完成し、新たに条例に追加します。  
(平成21年4月1日施行)



◀ 原町小学校前の3号街区公園

## 平成20年度補正予算19事業を繰り越す

表の主な事業は、国の緊急的な経済雇用対策のための補正予算が交付されたことに伴い21年度事業として行うため繰り越されました。

事業名	繰越額	備考
未利用公共施設解体工事	6,000万円	岩島旧第二小学校西校舎他
地上デジタル放送受信ポイント計測事業	1,60万円	町内200の受信ポイントを測量
定額給付金給付事業	2億7,726万円	16,990人対象
子育て応援特別手当交付事業	765万円	
町道分去・オリジン線改良工事	520万円	
町道紺屋町・平沢線道路改良工事	1,300万円	
町道1042号線道路改良工事	400万円	
町道岩井・金井線道路改良工事	1,300万円	
町道内野・山田川線道路改良工事	2,000万円	
町道平・長藤線路上再生処理工事	5,000万円	
町道1281号線舗装工事	600万円	
橋梁塗装工事	3,350万円	3橋りょうの維持工事を予定
街路事業整備費	3,680万円	
小型消防ポンプ購入事業	250万円	5分団第1部(新巻)
自主防災組織ハンドブック作成事業	180万円	毎戸配布予定
小学校校舎等耐震診断事業	1,100万円	校舎(太田・坂上) 体育館(太田・原町・坂上)
中学校体育館耐震診断事業	1,100万円	町内5中学校体育館
管内中学校旧プール解体工事	6,500万円	原町・岩島・坂上中学校を予定
社会教育施設耐震診断事業	1,800万円	町民体育館他

町づくりを問う

答 各分野について検討



加部 浩議員

**質問1** 町の活性化対策及び経済対策について。

**町長** 上信自動車道建設の箱島までの地元説明会が行われたが、早期実現することにより、通勤圏が広がり若者の定住に繋がることへの期待が出来る大きな要素の一つになり、交流人口が増え活性化が図られると考える。農業について、平成21年度予算で試験栽培、加工施設等の助成制度を考えている。

中小企業者の支援として平成20年度から小口資金の利子補給金の増額を議会でお願している。



駅北ロータリー

**質問2** 保育園・幼稚園・小・中学校の運営について。

**町長** 中学校の統合は新年度に入り町民の皆様へのアンケート調査を実施し、検討材料としていく。

幼稚園の延長保育は「預かり保育試行事業実施要綱」を検討している。

原小の旧校舎は、当面既存の体育館への通路として活用し、体育館新築の際に補助対象事業として取り壊す予定である。

給食調理場は新しいものでも28年が経過し、改修やセンター化も喫緊な課題と認識しており検討していく。

**質問3** 光ケーブルについて。

**町長** 原町地区は既に敷設されており、この3月から太田、川戸、金井地区も利用可能になっている。岩島・坂上地区も含め、全町早期実現し、通信システムを検討していきたい。



須崎幸一議員

町の水道事業の現状と課題とされるものは何か、またその取り組みについて問う。

水道料金の見直しは

答 地域審議会に諮りたい

**質問1** 上水道事業と簡易水道事業の運営方法について。

**町長** 水道法では水道事業は計画給水人口が五千人以上で、簡易水道事業は五〇〇人以上とされている。水道事業は企業会計を適用し、簡易水道では特別会計で行っている。町では将来、簡易水道の水道事業への統合を考えている。しかし当面は事業の建設過程の違いや、施設の整備状況の違いがあるので、計画的に簡易水道の施設整備を進めていきたい。

**質問2** 水道料金の見直しについて。

**町長** 水道料金の見直しについては地域審議会に料金問題の意見を伺っていききたい。

**質問3** 水道施設の整備計画について。

**町長** 老朽化した水道施設の整備計画については現在起債の償還額が年間六千万円です。内部留保資金内で優先順位及び老朽化度等を考慮の上計画的にすすめているが、投資金額が多額に掛かり、思うようにすすんでいない。

在上配水池の流量計等を交換



老朽化施設の整備を計画的に



青柳はるみ議員

## 町の雇用対策は

### 答 地元雇用を強く申し入れ

**質問** 雇用不安が頂点に達している今、町に貢献している企業の中には、雇用調整助成金を利用し、何とか頑張っている現状がある。緊急雇用対策事業で当町では5事業出ている。いつ、どのように募集、決定していくのか。

その際、再チャレンジする若者、一旦家庭に入つた女性がこれからの就労に繋がる場にもなるよう考慮すべき。バイオマスタウン構想の中で、企業に雇用は地元中心に求めるよう、強い指導がされているか。

**町長** 町として何か出来ないか、企業との情報交換を今後も続けていきながら支援策を推進していく。平成21年度では緊急雇用創出事業として5事業を予定している。事業費は一四三二万円余、予定人員は27人で賃金は役



吾妻バイオパワー完成イメージ  
地元雇用が期待される

## 条例と規則の整合性は

### 答 今後の検討課題とする



大図広海議員

れた特定の住民に本来的義務を免除し、または本来的でない権利を付与する。そういったことも地方自治法第14条により条例化されていなければならぬと考える。住民自治に対する町長の処断を尋ねたい。

**質問1** 地方自治法14条に規定されている「義務を課しまたは権利を制限する」この法文を斟酌するとき住民から抽出さ

**町長** 地方自治法第14条第2項に規定される「義務を課し、又は権利を制限する」は公共の福祉の観点から基本的人権を合理的な最小限の規制をする場合条例によることと理解している。「個別の対象者への特段の恩典を与える」についてはさまざま

な施策を展開するに当たり、道路整備などにより結果的にそう言った事になることもある。地方自治法第15条規則の制定ですが、条例で定める事項と規則で定めるものはそれに従い、地方公共団体の長の権限に属する事務については、規則で制定すると理解している。

**質問2** 事例として育英奨学資金貸付制度は条例化されている。東吾妻勤労者生活貸付資金と勤労者住宅貸付資金は要綱で制定している。外国語指導助手住宅貸付制度は規則で制定されている。両者が一方づいていなければならないのに、ばらばらである。整理ができるか考えるがどうか

**町長** すべての条例及び規則については整合性がとれているか検討すべきであると考える。





## ハツ場ダム対策特別委員会

3月13日関係者の出席を求め、20年度総括と21年度予定について説明を受けました。

**国関係**  
国道145号線、JR関連の工事が最盛期を迎えており、県道林岩下線は町道5284号線との交差点から林に向け重点的に工事を行い、21年度末の暫定供用の予定。

用地買収では3月12日現在、面積ベースで松谷



溪谷遊歩道（鹿飛橋～十二沢パーキング予定地間）完成

地区が87・7%、三島西部地区が96・6%、岩下地区が98・7%、大柏木地区が59・9%、須賀尾地区が96・2%の進捗状況。

健康増進施設の建設が、21年度予定されている岡原盛土の状況は、大型ブロック積みで11段まで積み上がり、6月までには仕上がる見通し。

ダム本体工事前の吾妻川切り回しの仮排水トン

ネルも地質が良く、予定以上の進捗状況であり、全長300mのトンネルが3月16日に貫通。

その他、JR工事の進捗状況と予定、大柏木トンネルの進捗状況、久々戸橋の進捗状況、**県関係**  
用地買収は95・3%の進捗状況。

工事関係では、国道145号線のハツ場バイパスの進捗状況と予定。

## 総務常任委員会

2月12日委員会を開催。議会および自治基本条例の制定を前提に、条例に盛り込む基本的な項目の確認を行い、これに基づき草案を作成することになりました。

職員給与の適正化について調査、検討のため現給保障額の残額、期末

県道林岩下線岩島駅前工事の進捗状況。

鎌田沢砂防の進捗状況と予定、その他町道松谷六合村線の工事進捗状況と予定。

土地改良の進捗状況と予定等。**町関係**  
健康増進施設（天狗の湯）の進捗状況と予定。

溪谷パーキング工事、溪谷遊歩道遊歩道補修整備、十二沢パーキング工事、猿橋についての現況と今後の予定。

手当の役職加算額、管理職手当等の支給額、ラス

パイレスの現況などについて基礎データの確認をおこないました。

2月27日委員会を開催。給与の適正化のため

に、町長に対し、削減に対する考え方の確認をおこないました。町長は、

昇給・昇格基準の見直しでラスパイレスの改善を図りたいとのことでしたが、委員会では削減効果も早期実施も期待できないことから、やむを得ず、別な削減方法を検討することとしました。

議会基本条例についての草案内容の検討及び制定を含め調査・研究することとしました。



溪谷パーキングが完成し4月22日供用開始

# 行財政改革推進特別委員会

現在まで、8回開催された委員会では、委員同士で積極的な論議が重ねられ有意義な調査・検討結果が得られました。

## 集中改革プランに

### 関すること

① 事務事業の再編・整理  
大幅な組織・機構の改

革が実施されたものの、本来それに合わせた厳正な職務階制を導入し、適正かつ機能的な職の設置をしていかなければならないのに、この改革では次長を設置した他に中間管理職的な補佐の設置をするなど、それがなされていま

せん。今後町に改善を求め、いくつもの結論になりま

した。② 第三セクターの見直しに関すること  
「コニファーいわびつ」について調査・検討を

た。前期末の累積欠損額は、七千万円を超えているうえ、適切な運転資金の調達ができない状態にあり、月々の支払いもままならず、その負担を納入業者に一方的に押し付けている状況が浮かび上がっています。現在の経営体制では、今後、最悪の場合経営が行詰ること

も考えられる状況です。総務省の指導は、専門家による経営状況のチェックを受け経営が立ち行かなければ21年度には法的整理の実施などについて判断するよう指導がなされています。このことから、町も商工会も早急に事業からの撤退を含めて会社をどうするかの判断を下すこと、また、建物所有する杉並区と充分な協議を行い、適正な判断をしていかなければなりません。

## 町営施設運営に

### 関すること

① 国民宿舎榛名吾妻荘

昨年度は町からの補助金は、過去最多の一億一、

九七〇万円となりました。平成17年度から、グラウンドゴルフ場を整備したことにより利用客が増加しているものの、一般の利用客がその分減少しており、昨年度は何とか前年度並みの集客数を確保できたが、収益性は低下しています。

13年が経過したために、新たな施設の改修や維持管理が必要な時期を迎え、今後多額な投資が必要とされます。できる限り早い機会に指定管理者制度等により、民間に経営を託していくとともに、平

行して施設の売却についても真剣に模索し、条件次第では全てを民間に任せるとも考えるべきとなりました。

## 議員定数及び報酬に

### 関すること

調査・検討中です。

この施設は、20年度予算をみても一、九五〇万円余りの不足額が計上されています。

町内の利用者が40%程度となっており、福祉施設的要求が強いことから、利用客の顕著な減少傾向は見られないものの、施設は築20年以上が経過し

老朽化しています。今後多額の設備投資が必要とされます。指定管理者制度等により、運営を民間に任せれば、健全経営も可能であると判断されます。

④ 特別養護老人ホーム  
いわびつ荘  
福祉施設とはいえ、独立採算による運営が原則と考えられます。人件費の抑制ができず一般会計から毎年多額の繰入が必要になっています。

築20年以上が経過し、今後多額な設備投資が必要になってくると考えられます。

以上のことから、現在は町の直営となつていますが、健全運営のためには、できるだけ早い機会に指定管理者制度等により、民間に運営を任せていく必要があります。



委員会の様子

3月12日に原町小学校の普通教室棟を視察しました。この校舎は、全ての窓に網戸を設置し、また、廊下側低い位置に窓を設置することにより風通しを良くし、天井に設置された扇風機と併せて、暑い夏場も子供たちが過

ごしやすいよう工夫されています。また、外に面している窓側の天井を高くし窓自体を広く大きくしたため、採光効率も良くなりました。今年度は原町小学校のプール建設が予定されています。

◀ 校舎の窓には飛散防止などのため、すべてフィルムがはってあります。

教室の向かい側には、広々とした多目的スペースを設けました。



## 第2回 臨時会

平成21年3月26日

### 国民宿舎事業（榛名吾妻荘）予算を否決

3月定例会において、21年度国民宿舎事業（榛名吾妻荘）当初予算が否決され、一部修正を加え提出しましたが、否決されました。

## 第3回 臨時会

平成21年4月14日

### 専決処分の承認

#### 税条例の一部改正

急激な経済悪化に伴って、国の施策で税法改正が行われ、当町でも条例改正を行いました。

一部を除き、主には減税となることの改正です。

#### 国民宿舎事業（榛名吾妻荘）暫定予算を不承認

3月の定例会、第2回臨時会で榛名吾妻荘の21年度予算が否決となり、4月～6月の3ヵ月間の暫定予算を専決処分しましたが、議会はこの専決処分を不承認としました。

### 議案

#### 工事請負契約の締結（原町小学校プール新築工事）

契約金額＝9,922万5,000円

契約先の相手方＝南波建設株式会社

## 第1回 臨時会

平成21年1月27日

町長より、課の設置条例ほか4件の議案が提出されいずれも原案どおり可決しました。

### 課の設置条例を変更（4月1日施行）

- 学校教育課と社会教育課を統合→**教育課**
- 税務課と会計課を統合→**税務会計課**
- **事業課**の新設  
(岩櫃ふれあいの郷、桔梗館、吾妻荘)
- ダム対策課→**建設課ダム対策室**
- 生活環境課→**総務課安全対策室**（消防・交通）  
**町民課**（衛生）

### 工事請負契約変更

原町小学校校舎新築工事は、鉄骨・鉄筋等の値上げによる、単品スライドに伴い契約額の変更を行いました。

8億1,585万円→8億2,698万円

### 懲戒審査委員の選任

弁護士 市場和政 氏  
横山幸正 氏

○2月13日付けで選任されました。



## 総務・産業建設常任

### 委員会合同視察

去る、1月22日から23日にかけて、1泊2日の行程で総務常任委員会と産業建設常任委員会の合同視察研修を行いました。

22日はバイオマスタウン関連で先進的な事業展開をして実績をあげている、山梨県富士吉田市にある(株)富士リバーズに伺いました。この会社は、自治体と連携して街路樹の剪定枝、伐採木を粉碎しバイオ燃料と堆肥化しリサイクルしています。

23日は神奈川県湯河原町役場において、議会・自治・森林づくりの3基本条例を制定し先進的な町づくりに取り組んでいる実態を研修してきました。特に議会基本条例については、「町民との協働の議会運営」を目標として北海道の栗山町に次いで全国2番目に制定され先進的な取り組みを始めています。こうした条例の必要性について認識するとともに、今後さらに調査・研究の必要性が認識できた研修となりました。

当町で取り組むバイオタウン構想との連携の可能性も感じ、町として今後さらに詳しい研究や調整の可能性を感じました。



(株)富士リバーズを視察

## 一部事務組合報告

### 吾妻広域町村圏振興整備組合

この組合は、郡内7カ町村で運営しています。

平成21年度一般会計予算は、14億8,000万円で、主に常備消防・吾妻養護老人ホーム・火葬場・ツインプラザ・文化会館等の事業費です。

そのほか、中之条病院事業会計と農業共済事業会計があります。

全体の町村負担金は13億1,013万円で、東吾妻町の負担金は2億8,601万円です。

### 吾妻東部衛生施設組合

2月25日、中之条町役場議場において定例議会が開催され、平成21年度一般会計予算は8億2,000万円、平成20年度補正予算が可決しました。

公平委員会委員の町田茂久氏（中之条町）を選任しました。

### 烏帽子山植林組合

3月4日、東吾妻町・中之条町・渋川市による組合議会在、東吾妻町において開催され、平成19年度決算を認定、平成21年度予算210万円を可決しました。

主な歳入は構成市町の分担金で、歳出の主なものは松の除伐作業費用です。

また、昨年より今後の間伐費用として20万円を積立しています。

## 表彰

地方自治振興発展に貢献された功労者として、3人の方が表彰され、議会初日に伝達が行われました。

今後受賞者各位のますますのご活躍を期待いたします。

群馬県町村議会議長会表彰

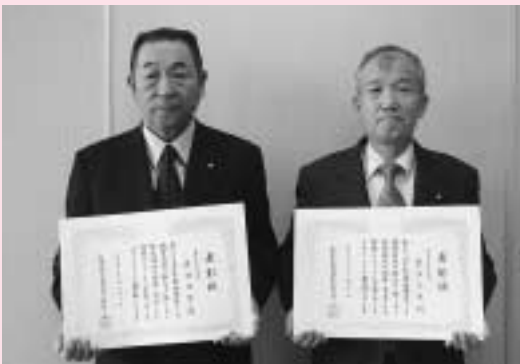
町議会議員在職10年

菅谷 光重 議員

原田 睦男 議員

事務局職員7年以上

小池 さつき さん



# Voice まちの声

## 「発想の転換で」

かとう ひでお  
加藤 秀雄さん（川戸：建設業）



100年に一度の大不況と言われていています。しかし、その危機的状況を東吾妻町も何もせず手をこまねているのではなくピンチをチャンスに変えるくらいの発想をしていてもらいたいと思います。優秀な職員の更なる能力を引き出す必要があります。今がその時ではないでしょうか。

徳島県の上勝町は人口2,000人弱の町ですが、木の葉や花を販売する「いろどり事業（はっぱ事業）」をおこなっています。マスコミにも取り上げられ全国的に有名になりました。その事業を担っているのは元気なおばあちゃん達と聞きます。他にもユニークな村や町起こしに取り組んでいる自治体は数多くあります。共通するところは、国や県の下請け的発想ではなく、ましてや、他町村の二番煎じや三番煎じでない独自のアイデアを「長」を先頭に職員を巻き込んでの発想の転換の中から生まれてきたと聞いています。

これからの環境問題も考慮して、新しい産業の創設や育成も大事ですが、「古きを尋ねて」の喩えがあるように、昔から続いている農業や林業に活路を見いだすことも考えるべきです。

一例としてわが町も「三島の麻」が有名です。「三島の麻」は神社本庁に納めるなど評価は日本一と聞きます。麻は色々制約があり生産拡大は無理でしょうが、それに変わるものとして養蚕の技術等の伝承は今始めなくては途絶えてしまうと考えられます。その技術を覚えているお年寄りに、保存会的なグループを作ってもらいぜひ日本一の「絹」を生産してもらい、奇抜かもしれませんが今は発想の転換が必要な時期ではないでしょうか。

議会や町も、この東吾妻町が生き残るために町民の先頭に立って知恵を出してもらいたいと思います。



麻の収穫期「麻こぎ」作業

## 編集後記

花の満開季節を迎え、あちこちで春祭りが行われています。テレビのニュースでは4月10日、天皇皇后両陛下のご成婚50年が経ったことが報じられました。マスコミのインタビューの中で、天皇陛下が「感謝の意を表します。」とのお言葉を述べられた事が印象に残りました。

3月定例会では、新年度予算案を中心として熱心な審議が行われて、議案によっては否決されたものもありました。

広報対策特別委員会として「議会だより」の紙面上でその中身をわかりやすく、正確にお伝えすることに努めて編集をしました。

町民の皆様には、議会のホームページが開設されており、ますのでご利用してください。

なお議会の臨場感を体験するとともに議会活動をご自分の目で確かめたい方は、ぜひ議会傍聴にお越しいただけることを願っています。

（須崎幸一）